

産業文化祭 おまつり広場

玉造町商工会・玉造町



993
広報

西進

11月号
No. 400

第32回玉造町 産業文化祭

カメラリポート

10/30・31

町恒例の産業文化祭
ことしも霞ヶ浦ふれあい
ランドを主会場に開かれ
ました。その様子をカメ
ラにおさめました。ご紹
介します。

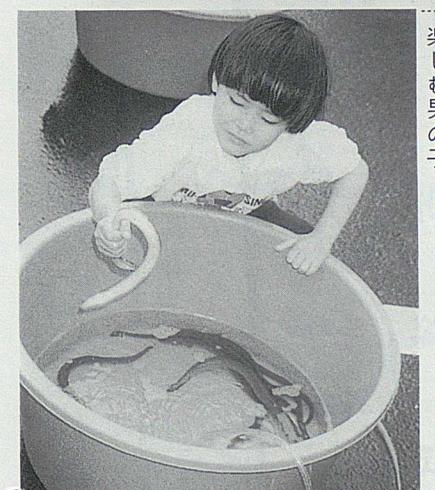
50円玉じゃんけん大会で優勝した諸井の佐々木清枝さん
と奈美ちゃん



手芸展では実演も……



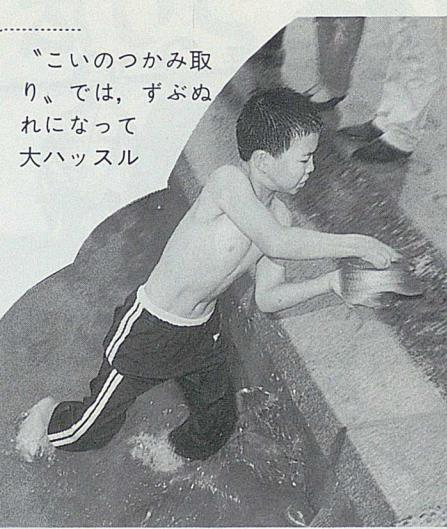
50円玉じゃんけん大会で優勝した諸井の佐々木清枝さん
と奈美ちゃん



淡水魚ミニ水族館でうなぎの手づかみを
楽しむ男の子

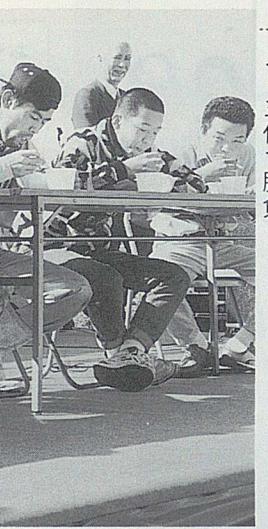


女の子の黄色い声がかわいい「絶叫コンテスト」



『こいのつかみ取り』では、ずぶぬ
れになつて大ハッスル

カレー早ぐいコンテストの決勝は、だい
ぶく五個で勝負



『こいのつかみ取り』では、ずぶぬ
れになつて大ハッスル

カレー早ぐいコンテストの決勝は、だい
ぶく五個で勝負



楽しませたジャズダンス



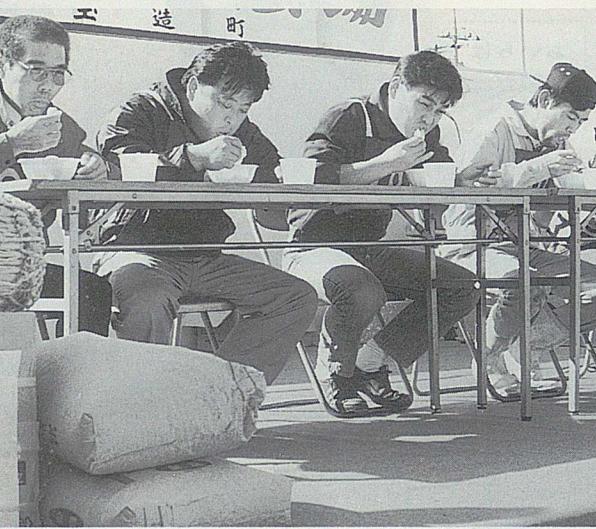
ひよっこり会場にあらわれた元マヒナスター
ーズの松平さん



大勢ではりきる西小はやし
の小学生たち



伝統芸を披露する羽生
ばやし



玉造町



子どもたちに人気のあったミニSL



西小はやし



伝統芸を披露する羽生
ばやし

俚謡作家大会

兼題「紅・葉・前・線」

天位 そつと聞いてる板前さ

んは 客が打つてた舌鼓

河野 有 美

地位 苦節幾年女房も泣かせ

やつと自前の店を持つ

成島青芦

人位 今朝は旅立ち主婦の座

捨て、心浮き浮き紅を引く

翠峰、五位市村きよ子

総合成績 一位成島青芦、二位駒館せつ

河野有美、三位河野有美、四位男庭

翠峰、五位市村きよ子

人位 今朝は旅立ち主婦の座

捨て、心浮き浮き紅を引く

成島青芦



民謡大会で勢ぞろいした出演者のみなさん



おいらは
海賊だ
へい



近くの野や山にある草花を展示し、
自然とのふれあいをアピール



芸術の香りただよう美術展



いつも人がいっぱいの菊花展



俚謡作家大会



目を楽しませる生花展

坂本常藏町長が勲二等瑞宝章を受章

秋の叙勲で最高の栄誉を



た坂本町長の功績が高く評価されての受章となりました。叙勲伝達式は十一月五日に皇居で行われました。

坂本町長は、昭和六十年四月二十九日に藍綬褒章（らんじゅほうしょう）を受章しており、今回の受章で市町村長としては最高の荣誉に浴されたことになります。

今回の受章について坂本町長は「勲二等瑞宝章という身にあまる勲章を受章できたのは、町民の皆さまからのご協力ご支援等による賜だと厚く感謝申し上げます。受章の感激を忘ることなく、さらに玉造町の振興と発展のために、まい進していきたいと考えています」と述べています。

坂本町長は、昭和三十四年一月に町長初当選以来、連続九期町長を務めており、その間、行方郡及び茨城県の町村長に就任し、昭和五十三年九月から五期八余年にわたり全国町長会長に就任しました。

勲二等瑞宝章は、今回の叙勲で茨城県内の受章者の最高位で、長年にわたり地方自治の振興と発展に尽力してきました。

坂本町長の 全国での会長歴

- ▼ 全国町村会会长
(昭和53年9月11日～昭和62年7月30日)
- ▼ 社団法人全国農業構造改善協会会长
(昭和60年4月1日～平成元年3月31日)
- ▼ 全国農業構造改善対策協議会会长
(昭和53年9月11日～昭和62年7月30日)
- ▼ 全国市町村林野振興対策協議会会长
(昭和53年9月11日～昭和62年7月30日)
- ▼ 全国市町村職員退職手当組合連合会会长
(昭和53年9月11日～昭和62年7月30日)
- ▼ 全国市町村保健活動連絡協議会会长
(昭和53年10月17日～平成4年5月12日)

スポーツの祭典“町民運動会”

区対抗の優勝は芹沢区

◎ 総合成績

優勝 荻沢区
二位 谷島区
三位 上山区
四位 荒宿区・竹の塙区

二位上山、三位里

(B) ロック 優勝竹の塙
二位舟津、三位横須賀
▼玉入れ

○玉造ゴルフ倶楽部
○呉市会（竹の葛）

○花立利子（谷島）

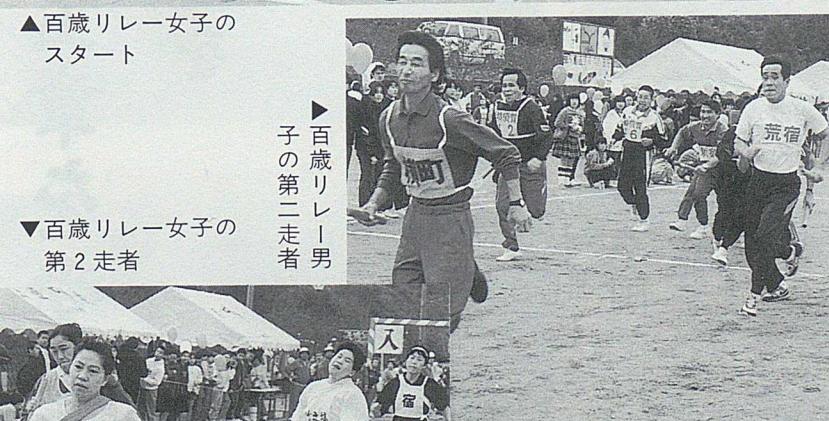
A black and white photograph of a person from the waist up. They are wearing a light-colored sweatshirt with the characters "西谷" printed on the front. The sweatshirt has a dark rectangular patch with the characters. They are also wearing dark pants with a vertical stripe down the side and white sneakers. The background shows other people and what might be a snowy or outdoor setting.

妖怪のマスクをつけて出場
した西谷チーム

▼出船入船	(Aブロツク) 優勝芹沢、二 位浜、三位羽生	平成五年度優秀選手表彰 (敬称略)
(Bブロツク) 優勝谷島、二 位荒宿、三位捻木	(Aブロツク) 優勝芹沢、二 位上山、三位中山	○ゲートボール桃浦チーム（ 代表野原悦子）
(Bブロツク) 優勝舟津、二 位小座山、三位内宿	(Aブロツク) 優勝芹沢、二 位諸井、三位藤井	○玉造中学校ハンドボール部 （代表千葉弥四郎）
(Bブロツク) 優勝竹の塙、 二位荒宿、三位高須	(Aブロツク) 優勝芹沢、二 位根古屋、三位新田・浜	○玉造中学校バドミントン部 （季子（カティット）の部）
(Bブロツク) 優勝荒宿、二 位横町、三位西谷・下宿	(Aブロツク) 優勝上山、二 位むかで競走	○玉造中学校卓球部 熊岡亜 美（カデットの部）
○走り福跳び 高保彦	○鉢田一 高野球部 鈴木賢司 ○鉢田一 高野球部 石橋秀一 ○茨城中央高校陸上部 関野 ひろみ	○空手道 武田純子（組手の 部）



▲百歳リレー女子の スタート



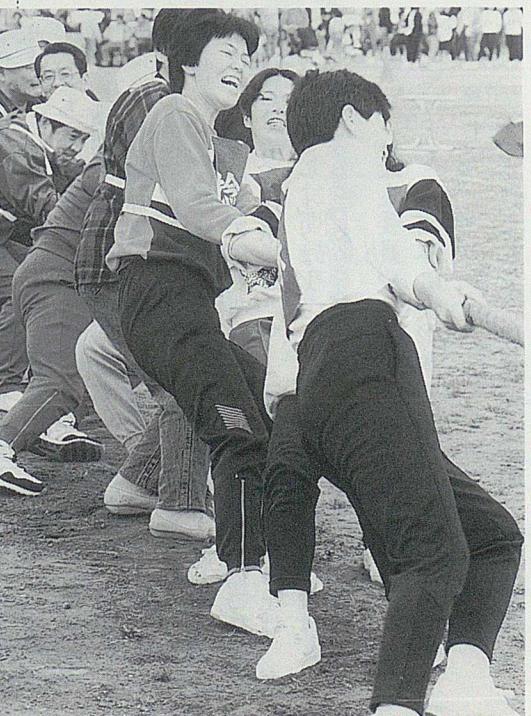
▼百歳リレー女子の 第2走者



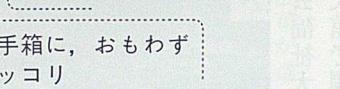
ことしも総合優勝した芹沢区の入場行進



A black and white photograph capturing a moment of intense competition during a tug-of-war match. In the center, a woman with short dark hair is laughing heartily, her head tilted back. She is wearing a light-colored sweatshirt with a dark horizontal stripe across the chest and dark pants. To her right, another person is pulling on the rope, their back to the camera. The background shows other participants and spectators, some wearing hats, in a grassy field under a clear sky.



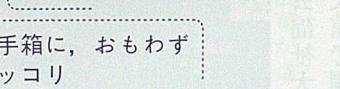
イキがぴったりあい、見事
1位の八木蒔チーム（むかで
競争）



楽しむ（出船入船）



イキがぴったりあい、見事
1位の八木蒔チーム（むかで
競争）



楽しむ（出船入船）

ト、二位根古屋B、三位西蓮寺ソフト(B)・池貝▼ママさんバレーボールの部(Aブロック)優勝フェニックス、二位歩クラブ(Bブロック)優勝現原小P T A、二位玉造小P T A (Cブロック)優勝玉川小P T A、二位和らぎ会

第5回B&G会長杯少年野球大会

優勝	ナイルス玉造
二位	セクシーボーアイズ
三位	ブランボーズ、ワングラ
（個人賞）	「」
殊勲賞	米川衛（ナイルス）
敢闘賞	鈴木幸男（セクシーボーアイズ）
技能賞	
三塚博巳（ナイルス）	

福祉功労者を表彰

玉造町社会福祉大会で



受賞者代表

磯山 啓雄

福祉増進に今後も努力

このような受賞は望外の喜び

本日は、玉造町社会福祉大

会がご来賓多数のご臨席のも

てござります。

今、社会福祉に対する社会

と盛大に催されましたことは、

的西請が益々高まりを見せて

誠にご同慶の至りでございま

す。

玉造町社会福祉大会が十月十八日に玉

造町中央公民館で開かれ、福祉関係者な

ど百五十人が参加しました。

人生八十年時代にふさわしい社会福祉

制度の充実が叫ばれている折、多年にわ

たり社会福祉の発展に功績のあった方々

を讃えるとともに、安心して暮らせる福

祉社会の推進づくりをねらい、大会は開

かれました。主催は社会福祉法人玉造町

社会福祉協議会。

大会は午前十時に始まり、主催者を代
表して坂本常藏玉造町社会福祉協議会長
が「福祉に携わるものとして行政関係者
と表裏一体となつて心のかよつた施策を
推進していきたい」とあいさつ。続い

た。大塚常雄鉢田地方福祉事務所長は「い

「議会としても地域福祉の増進に努力し
ているが、これからもなお一層豊かな住
みよい町づくりにつとめていきたい」と
述べました。

大塚常雄鉢田地方福祉事務所長は「い

心のかよつた福祉施策の 推進に努めたい

玉造町社会福祉協議会会長

坂本常藏

ま世の中が高齢化と出生児数が少ないな
ど難かしい状態になつてきている時、住
民に身近かな福祉サービスが益々必要に
なつてくると思うが、町と協力してやつ
ていきたい」。

森内捷夫行方郡社会福祉協議会長から
お祝いの言葉を受けて受賞者代表とし
て磯山哲雄さんが「今後も福祉増進に努
力していきたい」と謝辞を述べました。

受賞者の大崎美代さんは「①小地
域福祉活動の推進、②ボランティア活動
の普及推進、③在宅福祉ネットワークの
連携強化——の三つの実践」が宣言され
ました。

記念講演は「福祉の町づくり」と題し、
滝川道雄勝田市社会福祉協議会長の講演
が行われました。

なお、表彰された皆さんは次の方々です。
(敬称略)

玉造町社会福祉協議会 会長表彰

○民生委員・児童委員として

田山信男、関野ケイ、根崎四郎、磯山哲

雄、甲賀久寿、宮本俊雄、松沢 茂、栗原

弥寿夫、中田清一、大崎美代、横田清衛

○社会福祉団体関係者として
郡司 信、井野場弘、飯島勝治、橘川

本日は、日頃社会福祉事業
の各分野でご協力を賜つてお
ります皆さまのご参
加をいただき、本大会を開催
できることは、主催者の一
人として誠に喜ばしく厚くお
礼申し上げます。

わが国の社会福祉は、今日
まで行政及び民間福祉関係者
のご尽力により、めざましい
進展を遂げ、国民の福祉向上
に大きく寄与してまいりました。
しかし、今日の社会経済情
勢は著しく変動し、財政再建
いたしましては、このような

を骨子とする行財政改革が進
展するなかで、人生八十年時
代という長寿社会に対応する
新しい社会保障及び社会福祉
制度の確立に向け、現行の諸
制度を総合的に見直し、保健
施設の推進に努める所存でござ
います。

また、厚生省による高齢者
保健福祉推進十カ年戦略(ゴ
ールドプラン)及び、玉造町
の充実を図つてまいらねば
ならないと存じます。

終りに、本日永年にわたり
玉造町の社会福祉の発展並び
にボランティア活動に貢献さ
れ、晴れて表彰及び感謝状の
榮誉に浴された方々のご功績
とご苦労に対し、心より敬意
と感謝を申し上げますと共に、
皆さまのますますのご健勝
とご活躍を祈念致しまして、
ごあいさつといたします。

玉造町社会福祉協議会
会長



玉造町社会福祉協議会会長

坂本常藏

ま世の中が高齢化と出生児数が少ないな
ど難かしい状態になつてきている時、住
民に身近かな福祉サービスが益々必要に
なつてくると思うが、町と協力してやつ
ていきたい」。

森内捷夫行方郡社会福祉協議会長から
お祝いの言葉を受けて受賞者代表とし
て磯山哲雄さんが「今後も福祉増進に努
力していきたい」と謝辞を述べました。

受賞者の大崎美代さんは「①小地
域福祉活動の推進、②ボランティア活動
の普及推進、③在宅福祉ネットワークの
連携強化——の三つの実践」が宣言され
ました。

記念講演は「福祉の町づくり」と題し、
滝川道雄勝田市社会福祉協議会長の講演
が行われました。

なお、表彰された皆さんは次の方々です。
(敬称略)

玉造町の社会福祉の発展並び
にボランティア活動に貢献さ
れ、晴れて表彰及び感謝状の
榮誉に浴された方々のご功績
とご苦労に対し、心より敬意
と感謝を申し上げますと共に、
皆さまのますますのご健勝
とご活躍を祈念致しまして、
ごあいさつといたします。

幾次郎、飯島具之、仲田すい、斎藤美代
江、高木フミ、遠藤新平、理崎農夫

玉造町社会福祉協議会

感謝状

○社会福祉団体関係者

大場正維、出沼忠義、川島利悦、荒井
千代、筒井一雄、笛目吉男

○社会福祉協助者

橋本孝、栗原静香、玉造アマチュア
ゴルフ連盟、水戸ヤクルト販売株式会社



大会宣言を読みあげる
大崎美代さん

大会宣言で採択された実践項目

- ▼小地域福祉活動の推進
- ▼ボランティア活動の推進
- ▼在宅福祉ネットワークの連携強化



県民ふれあいの祭典（いばらきふるさとまつり）が10月23日・24日の2日間下妻市のさぬまサンビーチで開かれました。玉造町からは、羽生ばやしが出演し、町の無形文化財を披露しました。



「福祉の町づくり」と題して、福祉のこころを熱っぽく語る
滝川道雄さん



福祉の職場に就職を希望する方々の登録を行い、福祉施設等への職業紹介、あつせんを行う福祉人材バンク（福祉人材無料職業紹介所）が、労働大臣の許可を受け、県総合福祉会館内にオープンしました。

相談は電話でもできますが、登録、あつせんを希望する方は原則として直接来所のうえ、手続きをお願いします。

なお、求人を希望する社会福祉施設等の登録も同様に受け付けます。

▼開設時間 午前九時～午後五時（土、日曜日、祝日は休みます）

七

ご利用ください

▼対象職種 老人ホームをはじめとする社会福祉施設における寮母、社会福祉協議会のホームヘルパー、福祉活動専門員等（保育所の保母など一部対象外の職種、施設があります）。また、学校在学中の方についても対象外となっています）

▼費用 一切無料です。
秘密は固く守ります。

詳しく述べては、福祉人材センター（☎0292-44-1372）へ。

会長表彰を受けた皆さん



当日、大会に欠席された方は掲載されておりません。ご了承ください。

最優秀賞に町から二部門

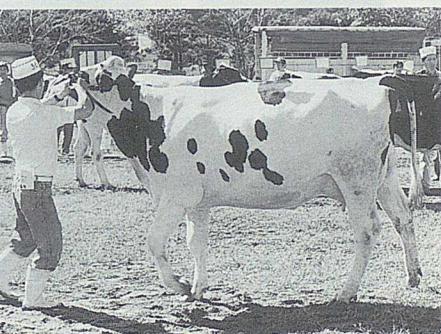
鹿行地区乳牛共励会

九二〇歲育代業之境」
〔萬

入賞は次の方々です。



手塚恵博さんと乳牛



田中俊雄さんと乳牛

乳牛の成育状態を競う「第
二回鹿行地区乳牛共励会」
が、十月九日に牛堀町で開か
れ、四部門のうち三部門の最
優秀賞を玉造町が占めました。

◎ 最優秀賞
田中俊雄（第一部と第三部）
手塚恵博（第四部）

ひとり暮らしの年寄りを
手づくり料理で接待

よもぎ会が

旧玉造地区に住む六十五歳以上のひとり暮らしのお年寄り十二人を招待して手づくりの料理を味わってもらおうと、「会食のつどい」が十一月二十日に中丸公民館で開かれました。

開いたのはお母さんたちのボランティアグループ「よもぎ会」（会長斎藤美代江さん、会員十人）。会は昨年の四月に発足。会食のつどいは昨年に続いて二回目。

この日は、朝早くから会員の皆さんが、腕によりをかけて作った料理が出され、楽しい会食となりました。メニューは、まぜごはんにいもがらの入ったみそしる。さんまの天ぷら、ポテトの煮物、酢のものなど。食事後はカラオケを楽しみました。

よもぎ会では、毎月十五日に定例会を開いて、活動や情報交換をしており、老人ホームへの慰問も積極的に行っています。

ことしの敬老の日には、长寿を迎えた地区内のお年寄りに手づくりのちゃんちゃんこをプレゼント。会長の斎藤さんは「私たちだれもがいつか

A black and white photograph showing a group of people in traditional Japanese clothing (yukata) gathered around a long table at a restaurant. They are eating from shared bowls and plates. The scene is set in a dimly lit room with a counter in the background.



スポーツ用具を寄贈
花立利子さん

くください」と谷島の化立利
んより、50万円相当のスプ
用具（テニス支柱、ハンド
ル用バックネット、ソフト
ル用具）が、このほど町へ
されました。

町では、学校スポーツ振興、
ニュースポーツ振興のために活
用させていただいております。

短歌

湖べより沖へと揚羽一つとぶ
はかなげにとぶわが目守るな
か　　笹　目　久　子

古き唄口すさみつつ拭く鏡ひ
とすじ光る白毛みつけぬ
菅　谷　富　栄

掘り上げる牛蒡の土を洗いつ
つ暗きしぐれのひとしきり降
る　　小野口　ト　ク

北国への路にあふるるななかま
ど真紅に燃えて秋の深まん
郡　司　春　枝

ゼネコンに搖れる政界晴れる
日はいつの日になる雲多き今
大和田　まさる

夜を徹し仕上げし木目込み人
形の離れ住む孫に眉の似てお
り　　久　米　妙　子

いづくより種子飛び来しや鮮
やかに見るになごめるベコニ
ヤの花　　島　田　敏　子

ようやくに改装の部屋調えり
この一刻の紅茶を愛す
鈴　木　初　代

岩桔梗群がり咲ける熔岩に落
日の光しばしたゆたう
小　沼　正　藏

さなぎだに佗しきものを秋の
昏れ欠伸の後の雨を見ており
背のびしつつ白きシャツ干す
吾を囲み青深く澄む空のひろ

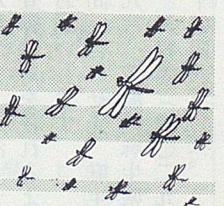
がり
川越えて暗き町並静かなり佐
原囃子の遠くに聞ゆ
奥田尚子
陽の温み吸いし布団にくるま
りて書を読む夜よ言う事はな
し 鈴木節子
もろこしの葉すれの音の涼し
さに夏も終りに近づくを知る
箱根七尾
清新しニユース目で追ふ朝刊
の汚職広がる記事に見入りぬ
八木みさほ
名月や懸れる雲の足早し
小谷草洞
声だけがそれと知らるる茸と
リ 鈴木和代
訪ねきし友よ筑波の爽やかに
松本霜石
交尾する蝮つながり一文字
八木草苑
運動会膝に余りし子を抱く
藤川秀子
秋晴や芹蒔く頃となる水辺
永野一碩
雲の衣脱ぐ名月の女性めく
鈴木夢情
筑波加波よせ合う肩の薄紅葉
大和田秋海棠
名月や駆け行く雲にかくれん
ば 飯島その
落葉焚けむりて淡き月日か

墨染めの松を浮かして月昇る
せつかくの景色もあせる秋の
雲 長谷川鶴頭子
秋の日のぬくもりを背に針仕
事 飯 島 伸 子
寝返りの夜長の胸に白帳載る
小 島 てる代
筑波嶺の稜線まぶし菊日和
武 田 淳 子
木犀の香り残して黄昏れる
遠 藤 輝 子
砂山に孫と諍う秋日和
山 野 草 月
遠花火聞きいてぬるき風呂加
減 藤 本 峰
暮れ早し街火一つ舟着場
川 島 草 人
紅葉吟行記

暫し声もなし。去りがたき思いを胸に抱きながら大笹牧場を経て、高原の秋を満喫するやがて車は奥鬼怒の秘湯川俣温泉を目指す。途中戌申の役名残りの栗山東照宮に詣でる九十九折りの紅葉の山路を辿れば窓外の右に左に鬼怒の渓谷・峠谷にかかる紅葉は正に絶景。折から斜陽を浴びて映える様は何者の筆舌も叶はず、唯言葉無き嘆声を発するのみ。

興奮覚めやらぬなか、今宵の宿一柳閣へ。木の香真新いい部屋に旅装を解く。せせらぎの音に心洗われながら露天風呂に疲れを癒し、夕食の膳に着く。ほろ酔いの機嫌に歌や踊りに暫しの寛ぎの時を過ごす。

明けて十九日、昨日に変わり朝日に輝く紅葉に、改めて感嘆の声を挙げながら帰途につく。日塩もみじラインを走るが、こちらは紅葉未だし。途中奥の細道黒羽町の雲巖寺に詣で芭蕉を偲び参加者の作吟を披露す。後、太子を終て玉造へ帰着。今回の企画に当たられたいなほさんに感謝しながら午後四時解散。(青芦記)



短歌

湖べより沖へと揚羽一つとぶ
はかなげにとぶわが目守るな
か　　笹　目　久　子

古き唄口すさみつつ拭く鏡ひ
とすじ光る白毛みつけぬ
菅　谷　富　栄

掘り上げる牛蒡の土を洗いつ
つ暗きしぐれのひとしきり降
る　　小野口　ト　ク

北国への路にあふるるななかま
ど真紅に燃えて秋の深まん
郡　司　春　枝

ゼネコンに搖れる政界晴れる
日はいつの日になる雲多き今
大和田　まさる

夜を徹し仕上げし木目込み人
形の離れ住む孫に眉の似てお
り　　久　米　妙　子

いづくより種子飛び来しや鮮
やかに見るになごめるベコニ
ヤの花　　島　田　敏　子

ようやくに改装の部屋調えり
この一刻の紅茶を愛す
鈴　木　初　代

岩桔梗群がり咲ける熔岩に落
日の光しばしたゆたう
小　沼　正　藏

さなぎだに佗しきものを秋の
昏れ欠伸の後の雨を見ており
背のびしつつ白きシャツ干す
吾を囲み青深く澄む空のひろ

がり
川越えて暗き町並静かなり佐
原囃子の遠くに聞ゆ
奥田尚子
陽の温み吸いし布団にくるま
りて書を読む夜よ言う事はな
し 鈴木節子
もろこしの葉すれの音の涼し
さに夏も終りに近づくを知る
箱根七尾
清新しニユース目で追ふ朝刊
の汚職広がる記事に見入りぬ
八木みさほ
名月や懸れる雲の足早し
小谷草洞
声だけがそれと知らるる茸と
リ 鈴木和代
訪ねきし友よ筑波の爽やかに
松本霜石
交尾する蝮つながり一文字
八木草苑
運動会膝に余りし子を抱く
藤川秀子
秋晴や芹蒔く頃となる水辺
永野一碩
雲の衣脱ぐ名月の女性めく
鈴木夢情
筑波加波よせ合う肩の薄紅葉
大和田秋海棠
名月や駆け行く雲にかくれん
ば 飯島その
落葉焚けむりて淡き月日か

掛 札 野 風
墨染めの松を浮かして月昇る
長谷川鶴頭子
せつかくの景色もあせる秋の
事 雲 茂木孝子
寝返りの夜長の胸に白帳載る
事 飯島伸子
筑波嶺の稜線まぶし菊日和
小島てる代
木犀の香り残して黄昏れる
武田淳子
砂山に孫と諍う秋日和
遠藤輝子
遠花火聞きいてぬるき風呂加
藤本峰
減 暮れ早し街火一つ舟着場
川島草人
紅葉吟行記

暫し声もなし。去りがたき思いを胸に抱きながら大笹牧場を経て、高原の秋を満喫するやがて車は奥鬼怒の秘湯川俣温泉を目指す。途中戌申の役名残りの栗山東照宮に詣でる九十九折りの紅葉の山路を辿れば窓外の右に左に鬼怒の渓谷・峠谷にかかる紅葉は正に絶景。折から斜陽を浴びて映える様は何者の筆舌も叶はず、唯言葉無き嘆声を発するのみ。

興奮覚めやらぬなか、今宵の宿一柳閣へ。木の香真新いい部屋に旅装を解く。せせらぎの音に心洗われながら露天風呂に疲れを癒し、夕食の膳に着く。ほろ酔いの機嫌に歌や踊りに暫しの寛ぎの時を過ごす。

明けて十九日、昨日に変わり朝日に輝く紅葉に、改めて感嘆の声を挙げながら帰途につく。日塩もみじラインを走るが、こちらは紅葉未だし。途中奥の細道黒羽町の雲巖寺に詣で芭蕉を偲び参加者の作吟を披露す。後、太子を終て玉造へ帰着。今回の企画に当たられたいなほさんに感謝しながら午後四時解散。(青芦記)

暮らしのワントライアル

雨が降り続いた後
の玄関先で、何とな
く水の腐つたような
においのすることが
あります。原因は雨
傘で、手入れが悪い
ためににあるのです。
雨傘を使つたら、必
ず水を切り、乾いたタオ
ルで柄をふいておき、晴
れた日に玄関先などに広
げて干すことを習慣にし
ましょう。

雨傘の手入れ



ブラシやスポンジで水洗い

べなつたら、//ひへ鬼を
スライドする部分に塗つておき
まお。普通の雨傘と回しよのう
こま。開いても、閉じても

ださい。洗うときは、柄を上にして裏側から洗います。両面を洗つたら水ですすぎ、傘の水を切つて風通しのよい場所で広げて乾かします。

さらには三ヵ月に一度くらいは、市販の洗濯用の洗剤を使つて洗いましょう。水洗いと同じ要領で、柄を上にして傘を広げ裏側から洗濯用のブラシカスボンジに洗剤をつけて洗います。傘を回しながら、中心の部分から端に向けてこすります。

言葉の履歴書

もみじ

の中でも特に美しい「楓」の異称ともなっています。



境によって外見が変わること
のたとえに使われます。
ともあれ、紅葉にまつわる
ことわざともなれば、同じよ
うな内容をいうにしても、な
んとなく美しく感じられるも
のが多いようです。

「紅葉のような手」といえば、幼児のかわいらし掌を形容した言い方です。「紅葉を散らす」といえば、恥ずかしさなどで顔を赤くすることを指します。

「もみ」は
紅黃色の染料
用植物「紅花」を揉んで染め
るところからきた言葉です。
紅い無地の絹布は「紅絹」と
呼ばれました。「もみじ」も
「もみいじる」や「もみづる」
といった動詞とかかわりがある
と考えられています。

ことわざともなれば、同じような内容をいうにしても、なんとなく美しく感じられるものが多いいよです。

死 亡		申上げます		出 産	
(10月受け付け分)		(10月受け付け分)		(10月受け付け分)	
年齢	名 氏	年齢	名 氏	年齢	名 氏
六十五	高 須 ところ	六十二	赤ちゃん まほら	二女	続柄
六十四	中 山 こう	六十一	小 松 崎	長男	保護者
六三	横須賀 こうよせ	五十九	奈 隆 なぞう	長女	英 博
六二	小 座 山 こざやま	五十八	秋 真 あきま	二男	正 信
六一	新 宿 川 しんじゆ	五十七	以 賀 いが	長女	千 春 ちかる
六〇	竹 の 壇 宮 たけのくに	五十六	和 朋 わとも	二男	政 賢 せいげん
五九	理 田 崎 り	五十五	涼 子 りょうこ	長女	宏 一 ひろいち
五八	新 田 宮 しんじゆ	五四	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
五七	竹 の 壇 宮 たけのくに	五三	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
五六	理 田 崎 り	五二	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
五五	新 宿 川 しんじゆ	五一	和 朋 わとも	長女	長 女 ながめ
五一〇	竹 の 壇 宮 たけのくに	五〇	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	四九	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	四八	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	四七	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	四六	和 朋 わとも	長女	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	四五	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	四五	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	四四	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	四三	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	四二	涼 子 りょうこ	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	四一	奈 隆 なぞう	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	四〇	秋 真 あきま	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	三九	以 賀 いが	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	三八	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	三七	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	三六	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	三五	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	三四	涼 子 りょうこ	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	三四	奈 隆 なぞう	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	三三	秋 真 あきま	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	三二	以 賀 いが	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	三一	涼 子 りょうこ	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	三〇	奈 隆 なぞう	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	二九	秋 真 あきま	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	二八	以 賀 いが	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	二七	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	二六	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	二五	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	二四	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	二三	涼 子 りょうこ	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	二二	奈 隆 なぞう	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	二一	秋 真 あきま	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	二〇	以 賀 いが	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	一九	涼 子 りょうこ	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	一八	奈 隆 なぞう	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	一七	秋 真 あきま	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	一六	以 賀 いが	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	一五	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	一四	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	一三	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	一二	以 賀 いが	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	一一	涼 子 りょうこ	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	一〇	奈 隆 なぞう	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	九	秋 真 あきま	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	八	以 賀 いが	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	七	涼 子 りょうこ	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崎 り	六	奈 隆 なぞう	二男	長 女 ながめ
一一	新 宿 川 しんじゆ	五	秋 真 あきま	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	四	以 賀 いが	長女	長 女 ながめ
一一	理 田 崙 り	三	涼 子 りょうこ	二男	長 女 ながめ
一一	新 田 宮 しんじゆ	二	奈 隆 なぞう	長男	長 女 ながめ
一一	竹 の 壇 宮 たけのくに	一	秋 真 あきま	長女	長 女 ながめ

誕生日おめでとうございます

出産

卷之三

死亡